



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸
(コード番号 5122 東証第 1 部)
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 11 月 1 日付「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 TEL 03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,776	8.5	1,199	0.6	1,724	24.7	1,081	39.3
25年3月期第2四半期	32,963	2.6	1,191	19.3	1,383	14.7	776	△9.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,191百万円(7,520.8%) 25年3月期第2四半期 41百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 10.63	円 銭 —
25年3月期第2四半期	円 銭 7.45	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第2四半期	百万円 76,583	百万円 44,163	% 57.7
25年3月期	百万円 72,871	百万円 41,815	% 57.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 44,163百万円 25年3月期 41,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
26年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	1.4	3,050	△4.5	3,450	△11.4	2,100	△4.8	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,938,877株	25年3月期	4,440,884株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	101,770,206株	25年3月期2Q	104,196,076株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	<u>P. 4</u>
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果が現れるなかで、円高の是正や株価上昇の動きもあり、景況感に改善の兆しが見られました。先行きについては、輸出が持ち直して各種政策の効果により個人消費や企業の設備投資への増加傾向が見られ、景気回復が確かなものとなりつつあります。しかし、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと営業経費の削減に取り組んでまいりましたが、円安による輸入価格の上昇、原材料価格の高騰などによりコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は357億76百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益は11億99百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は17億24百万円(前年同期比24.7%増)、四半期純利益は10億81百万円(前年同期比39.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用・工業用フィルムは、前年並みに推移し売上横這いとなりました。建材工業用フィルムは、産業用の需要が低迷したものの、住宅需要の好調により売上微増となりました。多層フィルムは、食品用・工業用の需要が堅調に推移し売上増となりました。農業用フィルムは、市場の在庫調整により売上減となりました。壁紙は、住宅着工件数の伸びにより売上増となりました。フレキシブルコンテナは、復興関連の需要が発生し売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの海外および国内での販売増により輸出向けを中心に堅調に推移し売上増となりました。粘着テープは、需要減少による販売競争激化のなか、販売努力により売上微増となりました。工業用テープは、電子部品用の需要低迷により売上減となりました。食品衛生関連商品は、新規獲得および消費回復により売上増となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、干物の需要が落ち込み売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は214億32百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は6億25百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、拡販政策により新規取引先が増加し売上増となりました。カイロは、新規取引先と導入アイテムの増加により売上増となりました。手袋は、作業用および産業用が需要減の影響を受けましたが、家庭用および医療用が好調に推移し売上増となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、売上微増となりました。ブーツ・雨衣は、梅雨明けが早まったものの、積極的な拡販政策を行ったことで売上増となりました。シューズは、新ブランドの導入等により売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は143億43百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は11億80百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円、セグメント利益は57百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は765億83百万円で、前連結会計年度末と比べ37億11百万円増加しております。

流動資産は429億86百万円で、前連結会計年度末と比べ3億97百万円の増加となりました。これは主として、商品及び製品が16億62百万円増加し、受取手形及び売掛金が9億1百万円減少したことによるものです。

固定資産は335億96百万円で、前連結会計年度末と比べ33億13百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が26億81百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は324億19百万円で、前連結会計年度末と比べ13億63百万円増加しております。

流動負債は234億55百万円で、前連結会計年度末と比べ2億38百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金2億36百万円、その他3億91百万円が増加し、未払法人税等が5億36百万円減少したことによるものです。

固定負債は89億63百万円で、前連結会計年度末と比べ11億24百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金1億円、その他が9億8百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は441億63百万円で、前連結会計年度末と比べ23億47百万円増加しております。これは主として、利益剰余金6億96百万円、自己株式4億58百万円、その他有価証券評価差額金が17億27百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	9,310
受取手形及び売掛金	21,103	20,201
商品及び製品	<u>7,052</u>	<u>8,715</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,421</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,744</u>	<u>1,705</u>
その他	<u>1,964</u>	<u>1,657</u>
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	<u>42,588</u>	<u>42,986</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,932
無形固定資産	149	162
投資その他の資産		
投資有価証券	14,766	17,457
その他	<u>1,192</u>	<u>1,247</u>
貸倒引当金	△7	△8
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,767</u>	<u>18,501</u>
固定資産合計	<u>30,282</u>	<u>33,596</u>
資産合計	<u>72,871</u>	<u>76,583</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	16,683
短期借入金	2,044	2,281
未払法人税等	1,273	737
賞与引当金	774	792
その他	2,570	2,961
流動負債合計	<u>23,217</u>	<u>23,455</u>
固定負債		
長期借入金	1,000	1,100
退職給付引当金	3,922	4,038
その他	2,916	3,825
固定負債合計	<u>7,838</u>	<u>8,963</u>
負債合計	<u>31,056</u>	<u>32,419</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	<u>24,461</u>	<u>25,157</u>
自己株式	<u>△1,495</u>	<u>△1,953</u>
株主資本合計	<u>36,373</u>	<u>36,611</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>5,873</u>	<u>7,600</u>
繰延ヘッジ損益	20	8
為替換算調整勘定	<u>△451</u>	<u>△56</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,442</u>	<u>7,552</u>
純資産合計	<u>41,815</u>	<u>44,163</u>
負債純資産合計	<u>72,871</u>	<u>76,583</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,963	35,776
売上原価	25,891	28,526
売上総利益	7,072	7,250
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,445	1,518
その他の販売費	1,112	1,243
給料及び賞与	1,409	1,387
賞与引当金繰入額	287	295
退職給付引当金繰入額	72	75
その他の一般管理費	1,554	1,529
販売費及び一般管理費合計	5,880	6,050
営業利益	1,191	1,199
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	168	182
不動産賃貸料	208	206
為替差益	—	248
その他	46	20
営業外収益合計	434	675
営業外費用		
支払利息	30	17
不動産賃貸費用	73	63
為替差損	86	—
その他	53	68
営業外費用合計	243	150
経常利益	1,383	1,724
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	87	88
その他	4	—
特別利益合計	99	88
特別損失		
固定資産除却損	5	2
災害による損失	11	—
特別損失合計	16	2
税金等調整前四半期純利益	1,465	1,810
法人税、住民税及び事業税	723	771
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	△105	△41
法人税等合計	688	729
少数株主損益調整前四半期純利益	776	1,081
四半期純利益	776	1,081

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	776	1,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△767	1,721
繰延ヘッジ損益	△18	△12
為替換算調整勘定	52	395
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	5
その他の包括利益合計	△734	2,109
四半期包括利益	41	3,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41	3,191
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,465	1,810
減価償却費	1,119	956
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	160	114
受取利息及び受取配当金	△179	△200
支払利息	30	17
為替差損益(△は益)	9	△1
持分法による投資損益(△は益)	2	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△86	△88
固定資産売却損益(△は益)	△7	△0
固定資産除却損	5	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,151	1,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,581	△1,357
その他の資産の増減額(△は増加)	290	369
仕入債務の増減額(△は減少)	△454	△195
その他の負債の増減額(△は減少)	△536	△154
その他	△21	△16
小計	2,378	2,343
利息及び配当金の受取額	179	196
利息の支払額	△31	△17
法人税等の支払額	△906	△1,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△1,450
定期預金の払戻による収入	400	1,450
有形及び無形固定資産の取得による支出	△867	△847
有形及び無形固定資産の売却による収入	51	0
投資有価証券の取得による支出	△415	△28
投資有価証券の売却による収入	96	151
その他	△228	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,363	△705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,002	228
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
社債の償還による支出	△1,500	—
自己株式の取得による支出	△368	△458
配当金の支払額	△392	△384
その他	△50	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,309	△542
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,037	91
現金及び現金同等物の期首残高	9,182	7,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,144	7,860

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,591	13,372	32,963	0	32,963	—	32,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	126	137	1,528	1,666	△1,666	—
計	19,602	13,498	33,101	1,528	34,630	△1,666	32,963
セグメント利益	680	1,194	1,875	62	1,938	△746	1,191

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,432	14,343	35,776	0	35,776	—	35,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	137	140	1,546	1,687	△1,687	—
計	21,436	14,481	35,917	1,546	37,464	△1,687	35,776
セグメント利益	625	1,180	1,806	57	1,864	△664	1,199

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△664百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 TEL 03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,776	8.5	1,245	△5.6	1,770	17.2	1,110	28.9
25年3月期第2四半期	32,973	2.6	1,319	29.5	1,510	23.2	861	△1.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,219百万円(2,439.3%) 25年3月期第2四半期 126百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.91	—
25年3月期第2四半期	8.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	76,817	44,398	57.8
25年3月期	73,077	42,021	57.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 44,398百万円 25年3月期 42,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
26年3月期	—	3.75	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	1.4	3,050	△4.2	3,450	△17.0	2,100	△11.6	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,938,877株	25年3月期	4,440,884株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	101,770,206株	25年3月期2Q	104,196,076株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果が現れるなかで、円高の是正や株価上昇の動きもあり、景況感に改善の兆しが見られました。先行きについては、輸出が持ち直して各種政策の効果により個人消費や企業の設備投資への増加傾向が見られ、景気回復が確かなものとなりつつあります。しかし、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと営業経費の削減に取り組んでまいりましたが、円安による輸入価格の上昇、原材料価格の高騰などによりコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は357億76百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益は12億45百万円(前年同期比5.6%減)、経常利益は17億70百万円(前年同期比17.2%増)、四半期純利益は11億10百万円(前年同期比28.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用・工業用フィルムは、前年並みに推移し売上横這いとなりました。建材工業用フィルムは、産業用の需要が低迷したものの、住宅需要の好調により売上微増となりました。多層フィルムは、食品用・工業用の需要が堅調に推移し売上増となりました。農業用フィルムは、市場の在庫調整により売上減となりました。壁紙は、住宅着工件数の伸びにより売上増となりました。フレキシブルコンテナは、復興関連の需要が発生し売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの海外および国内での販売増により輸出向けを中心に堅調に推移し売上増となりました。粘着テープは、需要減少による販売競争激化のなか、販売努力により売上微増となりました。工業用テープは、電子部品用の需要低迷により売上減となりました。食品衛生関連商品は、新規獲得および消費回復により売上増となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、干物の需要が落ち込み売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は214億32百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は6億71百万円(前年同期比16.9%減)となりました。

② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、拡販政策により新規取引先が増加し売上増となりました。カイロは、新規取引先と導入アイテムの増加により売上増となりました。手袋は、作業用および産業用が需要減の影響を受けましたが、家庭用および医療用が好調に推移し売上増となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、売上微増となりました。ブーツ・雨衣は、梅雨明けが早まったものの、積極的な拡販政策を行ったことで売上増となりました。シューズは、新ブランドの導入等により売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は143億43百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は11億80百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円、セグメント利益は57百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は768億17百万円で、前連結会計年度末と比べ37億39百万円増加しております。

流動資産は432億17百万円で、前連結会計年度末と比べ4億26百万円の増加となりました。これは主として、商品及び製品が16億40百万円増加し、受取手形及び売掛金が9億1百万円減少したことによるものです。

固定資産は336億円で、前連結会計年度末と比べ33億13百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が26億81百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は324億19百万円で、前連結会計年度末と比べ13億63百万円増加しております。

流動負債は234億55百万円で、前連結会計年度末と比べ2億38百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金2億36百万円、その他3億91百万円が増加し、未払法人税等が5億36百万円減少したことによるものです。

固定負債は89億63百万円で、前連結会計年度末と比べ11億24百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金1億円、その他が9億8百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は443億98百万円で、前連結会計年度末と比べ23億76百万円増加しております。これは主として、利益剰余金7億25百万円、自己株式4億58百万円、その他有価証券評価差額金が17億27百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	9,310
受取手形及び売掛金	21,103	20,201
商品及び製品	<u>7,024</u>	<u>8,665</u>
仕掛品	<u>1,867</u>	<u>1,821</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,761</u>	<u>1,727</u>
その他	<u>1,841</u>	<u>1,517</u>
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	<u>42,791</u>	<u>43,217</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,932
無形固定資産	149	162
投資その他の資産		
投資有価証券	14,776	17,457
その他	<u>1,196</u>	<u>1,250</u>
貸倒引当金	△7	△8
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,770</u>	<u>18,505</u>
固定資産合計	<u>30,286</u>	<u>33,600</u>
資産合計	<u>73,077</u>	<u>76,817</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	16,683
短期借入金	2,044	2,281
未払法人税等	1,273	737
賞与引当金	774	792
その他	2,570	2,961
流動負債合計	<u>23,217</u>	<u>23,455</u>
固定負債		
長期借入金	1,000	1,100
退職給付引当金	3,922	4,038
その他	2,916	3,825
固定負債合計	<u>7,838</u>	<u>8,963</u>
負債合計	<u>31,056</u>	<u>32,419</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	<u>24,674</u>	<u>25,399</u>
自己株式	<u>△1,495</u>	<u>△1,953</u>
株主資本合計	<u>36,586</u>	<u>36,852</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>5,866</u>	<u>7,593</u>
繰延ヘッジ損益	20	8
為替換算調整勘定	<u>△451</u>	<u>△56</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,435</u>	<u>7,545</u>
純資産合計	<u>42,021</u>	<u>44,398</u>
負債純資産合計	<u>73,077</u>	<u>76,817</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,973	35,776
売上原価	25,773	28,480
売上総利益	7,199	7,296
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,445	1,518
その他の販売費	1,112	1,243
給料及び賞与	1,409	1,387
賞与引当金繰入額	287	295
退職給付引当金繰入額	72	75
その他の一般管理費	1,554	1,529
販売費及び一般管理費合計	5,880	6,050
営業利益	1,319	1,245
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	168	182
不動産賃貸料	208	206
為替差益	—	248
その他	46	20
営業外収益合計	434	675
営業外費用		
支払利息	30	17
不動産賃貸費用	73	63
為替差損	86	—
その他	53	68
営業外費用合計	243	150
経常利益	1,510	1,770
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	87	88
その他	4	—
特別利益合計	99	88
特別損失		
固定資産除却損	5	2
災害による損失	11	—
特別損失合計	16	2
税金等調整前四半期純利益	1,592	1,856
法人税、住民税及び事業税	723	771
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	△63	△24
法人税等合計	731	746
少数株主損益調整前四半期純利益	861	1,110
四半期純利益	861	1,110

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	861	1,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△767	1,721
繰延ヘッジ損益	△18	△12
為替換算調整勘定	52	395
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	5
その他の包括利益合計	△734	2,109
四半期包括利益	126	3,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126	3,219
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,592	1,856
減価償却費	1,119	956
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	160	114
受取利息及び受取配当金	△179	△200
支払利息	30	17
為替差損益(△は益)	9	△1
持分法による投資損益(△は益)	2	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△86	△88
固定資産売却損益(△は益)	△7	△0
固定資産除却損	5	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,151	1,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,699	△1,403
その他の資産の増減額(△は増加)	280	369
仕入債務の増減額(△は減少)	△454	△195
その他の負債の増減額(△は減少)	△536	△154
その他	△21	△16
小計	2,378	2,343
利息及び配当金の受取額	179	196
利息の支払額	△31	△17
法人税等の支払額	△906	△1,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△1,450
定期預金の払戻による収入	400	1,450
有形及び無形固定資産の取得による支出	△867	△847
有形及び無形固定資産の売却による収入	51	0
投資有価証券の取得による支出	△415	△28
投資有価証券の売却による収入	96	151
その他	△228	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,363	△705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,002	228
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
社債の償還による支出	△1,500	—
自己株式の取得による支出	△368	△458
配当金の支払額	△392	△384
その他	△50	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,309	△542
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,037	91
現金及び現金同等物の期首残高	9,182	7,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,144	7,860

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>19,601</u>	13,372	<u>32,973</u>	0	<u>32,973</u>	—	<u>32,973</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	126	137	1,528	1,666	△1,666	—
計	<u>19,612</u>	13,498	<u>33,111</u>	1,528	<u>34,640</u>	△1,666	<u>32,973</u>
セグメント利益	<u>808</u>	1,194	<u>2,002</u>	62	<u>2,065</u>	△746	<u>1,319</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,432	14,343	35,776	0	35,776	—	35,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	137	140	1,546	1,687	△1,687	—
計	21,436	14,481	35,917	1,546	37,464	△1,687	35,776
セグメント利益	<u>671</u>	1,180	<u>1,852</u>	57	<u>1,910</u>	△664	<u>1,245</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△664百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。